



令和5年

12月

学校だより

NO.7 令和5年11月30日

さいたま市立美園北小学校

TEL 048(812)2277

<https://misonokita-e.saitama-city.ed.jp/>

すっばらしい!!!

校長 佐藤 利春

♪ 大切なものに～ ♪

令和5年11月10日(金)に、5年2組が小中合同音楽会(さいたま市文化センター)に参加しました。保護者の皆様には YouTube 配信でご覧いただいた通り、すばらしい合唱でした。私は観客席でビデオをとる係でしたが、子どもたちの表情、声の響きに、自然と涙がわいてきました。役得、いつもしあわせな体験をさせていただいており、ありがたいです。本校では毎年、5年生が小中合同音楽会に参加します。10月19日～21日のたかつえ自然の教室に向けた準備と並行して、各クラス「見上げてごらん夜の星を」「大切なもの」2曲の楽曲に一生懸命取り組みました。学年4クラスでコンペを行い、2組が代表となりました。

音楽会当日会場に向かうバスの中で、子どもたちのきれいな歌声が自然に沸き上がりました。まるでリハーサルのような感じでした。「緊張するでしょう?」と何人かに声を掛けましたが、「楽しみ～」というような反応のほうが多かったです。事実、会場入りした後も、実際の合唱も、堂々としたもので笑顔に満ちたものでした。どちらもいいことなのですが、私とすると少し合点のいかないところがありました。「緊張していない」「ステージに集中して楽しむのみ」今までに感じたことのない子どもたちの姿です。

帰校するとすべてわかり合点がいきました。音楽会の前日に、かわるがわる他の3クラスが訪問し、サプライズ応援ビデオを見せてくれたのだそうです。あとから私も見ました。これまで他の3クラスも、本当に一生懸命取り組んでいました。代表になれなかったことに対してとても悔しい思いをしたはずですが、しかし、コンペ後は全く同志として2組を応援するというスタンスになっていたそうです。出発直前にほかのクラスの子たちの想いを胸に受け取った子たちですから、緊張だとか心配だとか言う気持ちは微塵もなかったのでしょう。

♪大切なものに 気づかないぼくがいた ひとりきりじゃないこと 君が教えてくれた 大切なものを……

“歌詞の通りを感じ、その思いをステージに” 素敵な子どもたち・学年の取組。すっばらしい!

本稿を11月28日(火)に書いています。音楽朝会で5年生の作品を扱いました。学年全体全クラスでの合唱は圧巻でした。ビデオなのですが音楽会前のそれより明らかに違うことを感じます。私は、校舎巡回中の2年生教室後ろの入り口で見ましたが、やはり涙があふれてきました。各教室から素敵な拍手も沸き上がってきました。私は、5年生各教室にいき、「5年生すっばらしい!」と声をかけると、自身に満ちた笑顔が返ってきました。すっばらしい!!!

枠を越えてコラボレーション

特別支援学級「ひまわり学級」は、個々それぞれの学習・自立活動に加え、チームで様々なプロジェクトに取り組んでいます。子どもたちが教育版マイクラフトで「理想の学校・美園北小学校」を工夫を凝らし建設しました。これを、4年生に対して数度にわたりレクチャーし、全校放送でも紹介し、多くの子たちに楽しんでもらうようにしました。また、3年生全児童に対し、「ポッチャ大会」を企画運営しました。まず、各クラスの予選会に関わります。ひまわり学級の子たちは、説明・司会・審判・応援等をします。いわゆる運営をひまわり学級で回します。11月18日(土)に、決勝大会を行いました。各クラス代表チーム同士がトーナメントで対戦します。これが、大盛り上がり。3年生各クラスは、クラス旗を振りながら大声援。フロア外では、次の試合に向けてウォームアップ。体育館は中学校学校総合大会のような雰囲気でした。そんな雰囲気の中、ひまわり学級の子たちは堂々・活き活きとマネジメントしており、たいへん立派でした。

- 優勝じゃなくて準優勝だったけれどとても楽しかったです。ぼくは応援団でしたけれど、みんなで声を合わせて応援していると、応援している側も楽しかったです。銀メダルをもらってにこにこしている選手を見るとこちらもうれしい気持ちになれました。こんな楽しい大会ができたのは、がんばって準備してくれたひまわり学級の皆さんのおかげです。ありがとうございました。
- ひまわり学級のみなさん、ぼくたち3年生だけの特別な大会を開いていただき誠にありがとうございます。このような大会のおかげでぼくたちは仲を深めることができました。
- ひまわり学級のみなさんがこのような大会を企画してくれたおかげで、チームが一つになることができました。応援や喜び、悔しさをチームで感じ合うことができたのはポッチャ大会を企画してくれたひまわりさんのおかげです。

学年・学級・様々な枠を越えたコラボレーション。子どもたち一人ひとりが重なり合うことにより創造されるイノベーション。そこから生まれる新たな個々のモチベーション。すっばらしい!!!

「なぜ学校に行くのか?」上記例のほかにも、毎日、大小・軽重様々、子ども同士の豊かなかかわりがあります。集わなければ実現しない豊かな育ちが学校にはあります。そんな姿を毎日見ることのできるこの仕事。とてもありがたくしあわせです。今年もあと1か月。よい年末、有終の美となりますよう、皆様のお力をお願いします。